

<法20条の記載例>

承認申請書 ←	
(文書番号)	
平成 年 月 日	
青森県知事 殿	
申請者: 郵便番号	
住所	
氏名	
電話番号	
印	
別紙のとおり河川法第20条の承認を申請します。 ←	

河川法の許可申請と同時に行う場合は、「承認及び許可申請書」としてもよい。

河川法の許可申請と同時に行う場合は、「別紙のとおり河川法第20条の承認及び河川法第〇条の許可を申請します。」としてもよい。

備考

- 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。

(別紙)

1 河川の名称	○○川水系 ○○川 ←	水系名及び河川名を明記すること。
2 目的	護岸設置のため ←	目的は、護岸、河道整正、河道掘削等を簡潔に記入すること。
3 場所	自: ○○市○丁目○番地先 至: ○○市○丁目○番地先 ←	地番又は地先まで明記すること なお、行為面積が左右岸にまたがる場合は、左右岸に分けて記載すること。
4 工事内容	護岸○m (格子張護岸○m、柳枝工○m) ←	主要な工作物の名称、構造又は能力、数量等を簡潔に記入すること。
5 工事の実施方法	請負	
6 工期	承認の日から○年○月○日まで	
7 行為面積	○○○. ○○m ² ←	面積計算はm ² を単位とし、原則として三斜法により小数点第3位まで求積計算し、合計面積は小数点以下第3位を切捨てて記載すること。